2026年 （令和8年） 株式会社 ふるさと ふるさと タウン 運営推進会議

1 日時
9月17日(木) 14時00分 ～ 15時00分

いざという時に
“ 考えなくても ”
“ 勝手に身体動くように ”
日頃から、
訓練を重ねることは重要

2 事業所
看護小規模多機能型居宅介護 ふるさと カクテル
グループホーム ふるさと 我が家

3 内容
防火設備の操作方法説明
水消火器による消火体験
消防署の方の講義

4 内容意図
いずれ訪れる、地震災害。東日本大震災では、津波の被害が多く、阪神淡路大震災では、1月ということもあり、火災での被害が多く見られました。地震の際の火災も含め、いかにスタッフが冷静な判断と行動が出来るかを、頻繁に訓練をおこなうことによって、身体に叩き込むことを目的に、今回は、防火設備・消火器の操作方法の確認をさせて頂きます。

火災の原因





① ストーブやガスコンロが倒れ出火。

② 送電再開による火災。

避難所へ避難 ストーブを消さずに、慌てて避難。
↓
電気復旧送電開始 自宅に電気が流れる。
↓
ストーブから出火 / 配線等から火花 OFFにしなかった、ストーブに、電気が流れ、ストーブがONに。
↓
火災拡大 自宅にいない為、出火に気付かず、初期消火が出来ない。

事務所内に操作盤があります。

① 操作盤で発報場所の確認

② 現場へ行き“ 出火 ”“ 誤作動 ”の確認

③ 警報機の作動を止め、消防への対応

併せて

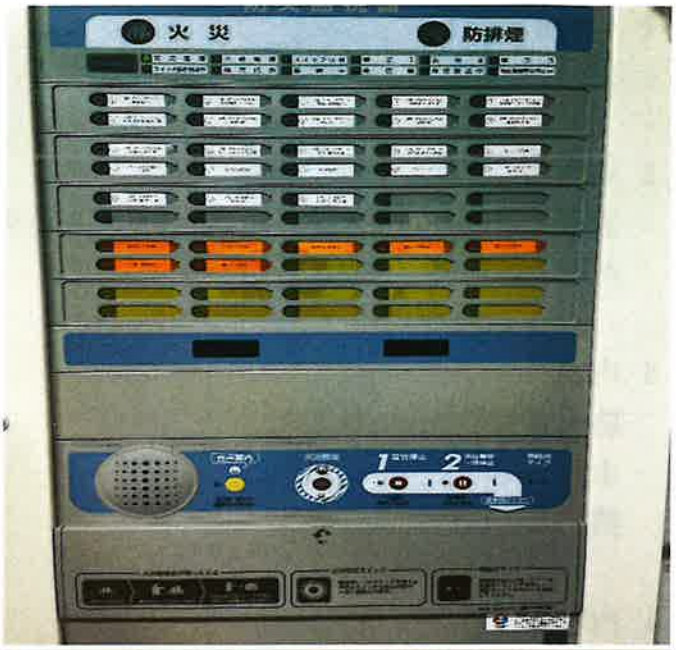
① スタッフの応援要請

② 御利用者の避難

③ 初期消火

が必要。

※誤作動の可能性もある為、必ず、現場で確認が必要







操作盤の緊急電話でのやりとりでは、現状の詳細確認が出来ない為、
携帯電話にて、消防署員との、やりとりをおこなって下さいと、
2年前の、避難訓練時に、消防署の方より、アドバイスを頂きました。





ふるさとタウン館内には、消火用散水栓があります。ここから、初期消火が出来ます。
避難誘導と共に、初期消火も重要となります。但し、初期消火が出来ない状態であれば、
自身の安全の為に、避難を優先させて下さい。







皆さん、操作方法は
大丈夫でしょうか？

又、普段は誤作動防止の為、
立ち入らないように、
施錠されています。

誤作動の際、まずは、解錠し、
冷静に操作しましょう。



1階、エレベーター前に、スプリンクラー制御室があります。万が一、誤ってスプリンクラーが作動した場合は、こちらで、操作をして、水を止めないといけません。

◎スプリンクラーの作動条件◎



1 作動温度 （ 72度 ・ 96度 ・ 139度 ）

① 72度で作動するもの
最も多く普及、11階以上のオフィスや販売店、病院などに設置。

② 96度で作動するもの
レストランの厨房や調理場といった、比較的周辺温度が、高くなりやすい、場所に、設置。

③ 139度で作動するもの
常に高温状態にある、サウナなどに設置され、余程の高温状態にならない限り、作動しないようになっています。

2 火災報知器との連動

火災報知器が、作動すると、同時にスプリンクラーも、作動する仕組みです。スプリンクラーは、火に水を直接かけることで、効果を発揮するものである為、煙感知器と連動することでは、効果を得にくいとされています。仮に、煙感知器と連動させた場合、散水すべき箇所以外からの煙にも、反応してしまう可能性があり、結果的に、誤作動や、消火損害を招く、恐れがあります。

3 手動

手動で、作動させる場合は、スプリンクラーの、手動弁を開く事で、散水される仕組みです。速やかに、作動させられることが利点です。



ふるさとタウン、災害時の “ 4つの安心 ” 。①飲料水として使用出来る水の確保。②停電時の電力供給。③食料品等の備蓄。④生活用水の確保。そして、“ 5つ目の安心 ” は？災害時に、冷静な判断と行動が出来る、全スタッフ。
これも、日頃からの、訓練のおかげです。

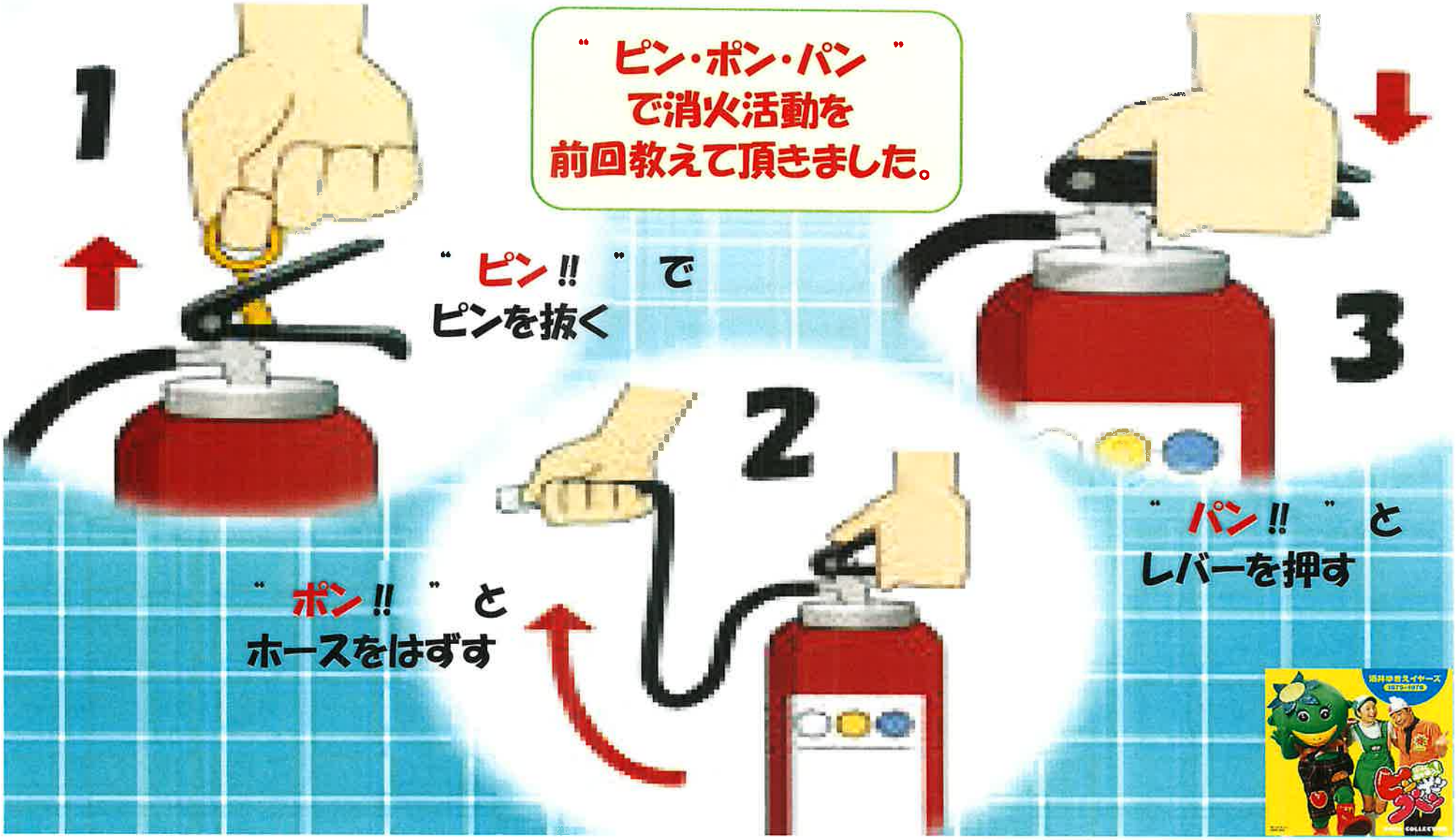











“ピン・ポン・パン”
で消火活動を
前回教えて頂きました。
1
“ピン!!”で
ピンを抜く
2
“ポン!!”と
ホースをはずす
3
“パン!!”と
レバーを押す